

高き志【こころざし】

地域とともにある

勢いのある学校

No. 12(R2. 7. 30発行)文責 校長 福田雅也

こんなことも考えています(その2)

この標題の学校便りは、昨年度の9月にも発行しました。一昨年の国会で成立した「働き方改革関連法案」を受け、本校として取り組む内容を保護者の方々にお知らせするための便りでした。

今年度から本校PTAに加わられた1年生の保護者の方がいらっしゃいますし、少し内容が変わった部分もありますので、今回はその内容をお伝えすることにします。

下の枠内は、私が職員に渡した書面の内容です。【行間の関係で枠内はふりがなが打てませんでした】

1 意識改革

(1)『いい加減』に仕事をする。(通常使われている意味ではなく、文字通りの意味)

- ・「子どものために」だけを考えたら、やることに際限はなくなる。
時には、「自分のために」を考える。
- ・仕事に軽重をつけ、省けるものは思い切って省く。
- ・場合によっては、「明日できることは、明日に回す」

(2) ぜひ、プライベート生活の充実を。

- ・それぞれの先生方に豊かな人生を送ってほしい。
- ・プライベートの充実は、ひいては、「子どもたちのため」になる。
- ・「早く帰ってやりたいことがある」「早く帰って会いたい人がいる」ことは仕事の効率化につながる。

(3) いろいろな整理をする。

- ・いろいろな整理をすることで仕事の効率を向上させる。
 - ・まずは、身辺や机上、書類の整理をする。
 - ・頭の中も整理する。
- 前述の仕事の軽重に加え、仕事の順番付けと完了期日を決め、計画的に仕事を進める。

2 具体策

(1) 学期末、学期始めの事務整理等の時間確保(今年度は状況に応じて実施))

- ・各学期末の事務整理の期間を原則2週間に延ばす。
- ・各学期始めの数日間は、授業時数を4～5時間にし、児童からの提出物確認等の時間に充てる。

(2) 定時退勤推進日の徹底

- ・毎週水曜日の定時退勤推進日をより徹底させる。
当面の退勤時間を17:30とする。段階的に17:00を目指す。
- ・定時退勤推進日を徹底するため、各自が上記の意識改革とその実践に取り組む。
- ・原則としては、校長が施錠する。

(3) 学級通信の記事部分の発行を原則2週に1回程度とする。

- ・全校的に一斉に取り組む。
- ・子どもたちの様子については、学校HPでの情報発信を充実させる。
- ・どうしても伝えたい内容がある場合は、その都度発行する。

(4) Web会議システム等のICTを効果的に活用する。

- ・自分の担当分野の町内会議・研修において積極的にWeb会議システムを活用する。
- ・町内で共有している校務支援システム(ミライム)を積極的に活用する。

ここからは、前回は書いた内容ですが、私は学校の責任者として、子どもを守ることが何よりも大切ですが、同時に職員を守る必要があります。この書面は保護者の方々にお知らせするような内容ではないと思いつつ、お伝えしなければならぬ事が二つ含まれており、その二つを決定した経緯を知っていただくためには、そのまま、お伝えすることが一番だと考え、掲載しました。そして、お伝えすべき内容は上の書面にもある次の二つです。

(1) 毎週水曜日の定時退勤推進日を徹底させます。(職員の退勤時間は当面17:30)

(2) 学級通信の記事部分は2週に1回程度の発行とします。

様々なご意見等がごありかと思いますが、それらは後日、私に直接お伝えいただくとして、まずは本校の働き方改革についての状況と上記具体策にご理解をいただきますようお願いいたします。

県下でコロナウイルス感染が拡大しています。この件に関しましては、本日で、別に「新型コロナウイルス感染症対策の徹底について」というお願いの文書を発行しています。そちらのご確認もよろしくお願いたします。